



## 阿南の観光

ふとしたことがきっかけで、郷土歴史に関心を持つようになり、歴史の講演会には積極的に参加しています。

昨年、市文化会館で「阿波遍路道 フォーラム」

が開催されました。太龍寺道、いわや道など、くわしい説明があり、四国で初めて阿南の古道が国指定文化遺産になり、また追加答申を受けたといえます。関係する方々の多大なる努力のおかげです。いよいよ世界遺産にと期待が高まります。西の高野山と称される立派な太龍寺山と、周辺の古道、世界の人々にも早く見ていただきたいものです。ほかに、阿南には、美しい海や山、歴史ある名所がたくさんあり、歴史



富岡町 松田 満樹さん

的説明を加えれば、より良い観光地となることでしよう。こうした吉報も、古道や石造物を大切に残していたからですが、反面、惜しいなと思うこともあり。竜の窟の消滅です。子どもの頃、窟（石灰岩の鍾乳洞）の入口で休んだ懐かしい思い出がよみがえります。今はもう崩れてしまつて跡形もありません。もし、窟が残つていればと思うと、とても残念です。

これから阿南に多くの観光客が訪れるようになるかもしれません。今ある史跡や建造物を大切に保存していただき、身近にある自然を保つていけるよう、私たちも努力していきたいものです。

次は、富岡町の喜多啓吉さんをお願いします。

## 市民文芸

### 短歌

阿南市文化祭短歌大会選

吉形 和恵  
屋下がり物干しに見る秋の風夏のブラウス  
微かに揺らす

中野 郁子  
生かされて父母を越え八十路なり稲刈鎌持  
つ今が幸せ

宮崎喜美子  
故郷に自販機置かれ場違いな空気流るる過  
疎の真夏日

柳川 育世  
百均のレジに並べば前の女写経の紙をしな  
やかに抱く

小野スミ子  
八十半ば物忘れひどく「それ、あれよ」と  
友との会話すべてことたる

米田千代美  
病む夫に炊く新米の香の頭ちて古りし厨辺  
温もり持てり

倉橋寿満子  
桑野川「ウソノ口」とふ淵ありて幻に見つ  
戯れる川獺

### 俳句

阿南市俳句連合会選

浜田百合子  
去る鶴へ噴煙低く桜島

佐々木八千代  
仲見世の土産屋のぞく春シヨール

池内 明美  
白魚網岸边に準備出来ており

数藤 君子  
リハビりに励み春待つ車椅子

有賀 義子  
娘の見舞素敵な杖や日脚伸ぶ

手塚 真帆  
梅八分洗濯物の良く乾き

長谷川葉月  
七草を唐土の鳥より先に食べ

田中 織女  
辻地藏節分の豆供えあり

神野 利津  
しらじらと朝月を背に冬渡船

森 泰子  
早春の児童の歓声一輪車

高木旬笑選  
ときめきのプランに快い目覚め

林 満子  
寒翁が馬と八十路も心がけ  
生き甲斐にしてくれるなと五年生  
萩野ひとみ  
春来ればワクワクとする出逢い月  
佐野 智子  
ライバルが隣の席で欠伸する  
二階千代美